

令和 3 年 度  
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書  
(令和 2 年度対象)

真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり

令和 3 年 1 1 月  
寄居町教育委員会

## 目 次

I	趣旨	2
II	点検・評価の基本方針	2
III	点検・評価の結果	3
	「第6次寄居町総合振興計画基本構想」における基本方針及び基本施策	
・	[成長と学びの環境の充実] 学校教育と教育環境の充実	3
・	[成長と学びの環境の充実] 生涯学習環境の充実	17
・	[成長と学びの環境の充実] スポーツ環境の充実	21
・	[成長と学びの環境の充実] 青少年の健全育成	23
・	[活躍の場の充実] 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援	26
・	[活躍の場の充実] 地域間交流・国際交流の推進	27
・	[一人ひとりを尊重する地域づくり] 人権尊重と相互理解の促進	28
・	[歴史の継承、文化の振興] 歴史資源の保護・継承	30
・	[歴史の継承、文化の振興] 伝統文化の継承	32
・	[歴史の継承、文化の振興] 文化活動の充実	33
・	[自然資源の保全・継承] 自然環境の継承	35
IV	結びに	36

## I 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

寄居町教育委員会では、同法に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「教育委員会の事務に関する点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

## II 点検・評価の基本方針

「第6次寄居町総合振興計画基本構想」が、2017年度から2026年度（平成29年度から令和8年度）を計画期間として、これからの地域社会や行政サービスのあり方を示し、町民と町がともに目指すまちづくりの目標を掲げ、ともに取り組むことのできる総合振興計画として策定されています。寄居町教育行政の主要施策もこの中に掲げられています。これをもとに教育委員会では、「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、次の5つの教育行政重点施策に取り組みました。

1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進
2. 豊かな心と健やかな体の育成
3. 教職員の資質向上と教育環境の充実
4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進
5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進

点検評価は、「第6次総合振興計画基本構想・前期基本計画」に掲げられた基本施策の取り組みの内、教育委員会で取り組んだものに上記5項目を当てはめて実施いたしました。

なお、この点検評価に当たっては、学識経験を有する方から意見・提言をいただきました。

## Ⅲ 点検・評価の結果

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

### 「成長と学びの環境の充実」

【学校教育、生涯学習、スポーツを通し、豊かな心と人間性・創造性を育てる環境を整えます。】

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「2. 豊かな心と健やかな体の育成」
- 「3. 教職員の資質向上と教育環境の充実」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」
- 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策1 学校教育と教育環境の充実

#### 取り組みー1 確かな学力の育成

- ・ 真の学ぶ力を身につけ、自らの未来を切り拓くことができるよう、基礎的な知識、技能はもちろん、学ぶ意欲や思考力・判断力など、確かな学力の育成のため、次の取り組みを行いました。

なお、学校においては、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導方法の充実を図り、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業、効果的なICT活用の推進に努めました。

##### ① 放課後サポートスクール事業

教員経験者や教員免許所有者を放課後サポーターとして、小学校6校にのべ25名配置し、授業の補充(主に算数)を行いました。児童約8人に対して1人のサポーターを配置することで、児童の理解度を把握でき、きめ細かな指導を

行うことができました。

#### 放課後サポートスクール事業実施状況

(単位：回)

	令和2年度	令和元年度	増減
実施回数	20	26	△6

※実施回数を各月2回実施に変更したことで6回の減。

#### ② 土曜サポートスクール事業

中学校3年生対象の土曜塾では、部活動の引退期から学習意欲を喚起し、学習習慣を定着させるため集合型の対面授業と非集合型のオンライン授業を組み合わせて実施しました。また、進路対策講座を40回実施しました。参加生徒の割合は、中学3年全生徒数の5割以上となり、そのうち98%の生徒が希望校に合格しました。

#### ③ ハイパーQ Uテストの実施

学級満足度や学校生活意欲度を把握するため、全児童生徒を対象にハイパーQ Uテストを実施しました。このことにより、児童生徒を客観的な視点から理解することができ、児童生徒同士のグループ分けや、教育相談の際の資料として活用しました。

#### ④ 学力向上推進委員会の取り組み

学力向上推進委員会を書面開催で行い、各校の情報交換を行うとともに、学力向上に向けた手立てを共有することができました。県の指導のもと、県学力・学習状況調査のデータの児童生徒への活用法を共有し、実施することができました。また、オンライン授業の実施方法の課題について推進委員と研究を進めました。

### 取り組みー2 英語教育の推進

・ グローバル化に対応できる英語教育の推進のため、次の取り組みを行いました。

#### ① 外国語指導助手（ALT）派遣事業

令和2年度は中学校の新学習指導要領全面実施となり、昨年度は小学校5・6年生に外国語として教科化され、3・4年生に外国語活動が導入されました。これらのことを踏まえて、ALTの効果的活用法やデジタル教科書等ICTの効果的な活用法について研究をすすめました。

## ② 中学校英語検定無償化事業

中学2年生は1月に、中学3年生は10月に実施される英語検定の受検費用の全額を町が負担しました。この結果、英検受検者の割合が、前年度と比較して2年生は5.8%増加しました。

また、この事業を利用して英検3級以上を取得した生徒の割合は、3年生が7.0%、2年生が2.0%で、いずれも昨年度と比較して増加しました。

(単位：%)

学年	区 分	令和2年度	令和元年度	増 減
3年	受検率（対全生徒数）	61.0	68.3	△7.3
	3級以上取得率	34.4	27.4	7.0
2年	受検率（対全生徒数）	71.5	65.7	5.8
	3級以上取得率	14.6	12.6	2.0

### 取り組み－3 小中一貫教育の推進

- ・ 中一ギャップの解消や学びの連続性による学力向上を目指し、小中一貫教育の具現化のため、次の取り組みを行いました。

#### ① 小中一貫教育推進計画の作成

中学校区ごとに目指す子供像を決定して共有し、事業計画を立て小中一貫教育に取り組みました。教職員の交流として小中合同の連携研修会、小中の校内研修会への参加を通し、児童生徒の実態把握及び授業技術の共有を図ることができました。中学校英語教員による小学校5・6年生への授業などを行いました。

### 取り組み－4 健やかな体づくり

- ・ 健やかな体づくりのため、次の取り組みを行いました。

#### ① 部活動指導員・部活動支援員の配置

専門的な技能を有する指導員3名と支援員1名を3中学校に配置し、放課後や休日の部活動を支援することで、部活動の一層の充実と教職員の負担軽減を図りました。

部活動指導員の活動状況

(単位：日)

区分	寄居中学校	城南中学校	男衾中学校		合計
			ソフトテニス	陸上	
活動日数	136	239	207	258	840

※ 学校の臨時休業期間中等の部活動停止期間における在宅勤務も含む。

② 体力向上推進委員会の取り組み

体力向上推進委員会の授業研究部では、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業モデルの創造をテーマに掲げ、寄居小で研究授業を実施し、授業モデルの提案を行いました。新型コロナウイルス感染防止策を講じながらも児童はICTを活用し、仲間の良い動きを見つけたり、アドバイスをしたりしながら、学級全体で学び合いをしていました。

③ 校庭芝生維持管理事業

平成29年度に校庭芝生化工事を行った男衾小学校と、平成30年度に校庭芝生化工事を行った寄居中学校において、以下の事業を委託し、良好な状態を保つことにより、児童生徒の遊び場や運動場として環境作りに貢献しました。

なお、県補助金は、男衾小学校が令和元年度で補助期間が終了したことから、寄居中学校のみが対象となりました。

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
男衾小 寄居中	校庭芝生維持管理事業委託	校庭芝生の散水、刈り込み、施肥、除草、補修・目土、刈芝処分、排水作業	1,282

取り組みー5 インクルーシブ教育の推進

・ インクルーシブ教育推進のため、次の取り組みを行いました。

① 教育委員会事務局事業

教育サポートセンターでは、幼稚園・保育園と小学校との円滑な引継ぎを図るため、相談員が年2回、定期的に幼稚園や保育園を訪問し、就学前の児童の情報を収集して各学校に提供しました。その他、保育園からの要請により就学児童の観察を行ったり、小学校からの要請で教育相談の事例研修に参加したりしました。

また、子供の成長・発達や子育てに関する保護者の悩みについて、電話相談や来所相談を行いました。相談内容により、専門機関や町の子育て支援課

へ繋ぎ、支援の充実を図りました。

教育サポートセンター相談件数

(単位：件)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
電話相談	36	111	△75
来所相談	9	15	△6
専門機関等との連携	432	402	30
合計	477	528	△51

## ② 学校サポーター事業

通常学級において配慮を要する児童生徒への学習支援や特別支援学級の児童生徒、病気等により肢体が不自由な児童生徒への学校生活に対する支援を行うため、学習支援サポーターを30人、介助サポーターを15人配置し、昨年度と比較し計6名の増員をはかりました。

学校サポーターの人数が増加したことにより、支援が必要な児童生徒と通常学級の児童生徒との交流が増え、インクルーシブ教育の推進が図られました。

また、各学校1名のスクール・サポート・スタッフを配置し、新型コロナウイルス感染拡大対策としての校内の消毒業務を行いました。

## ③ 特別支援教育事業

臨床心理士や教育サポートセンター相談員、さわやか相談員やスクールカウンセラーと連携して41人に対しWISC検査を実施しました。児童生徒の特性を客観的に把握し、「多様な学びの場」があることを保護者に伝えることにより、児童生徒が「安心して学べる」という個に応じた支援へつなげることができました。

## 取り組み-6 教職員の資質向上

- ・ 教職員の資質向上のため、次の取り組みを行いました。

### ① より・Eスーパーアドバイザー事業

「より・Eスーパーアドバイザー」として、教育技術に優れた退職教員3名が各小学校を巡回し、初任者から5年目までの教員を中心に授業参観、チームティーチングによる授業、教材研究、師範授業といった指導を行いました。

スーパーアドバイザーから、教材研究のポイントや発問、授業の展開について指導を受けたことにより若手教員の指導力向上が図られました。



## ② 研究委嘱事業の取り組み

研究委嘱事業として、学習指導の研究を1校（鉢形小学校）に委嘱し、「自ら考え、主体的に学ぶ児童の育成～学習意欲の構築から学力の定着へ～」を研究主題とし、児童が興味・関心をもって課題に取り組めるような授業改善に努めました。

また、人権教育の研究を2校（男衾小学校・城南中学校）に委嘱し、男衾小学校は「自他の大切さを認め、仲間を愛し、夢に向かい、自分を高められる児童の育成～なかまタイムの授業実践を通して～」、城南中学校は「豊かで思いやりのある心を育む人権教育の推進～自他のよさや違いを認め合い、主体的・協働的に行動できる生徒の育成を目指して～」を研究主題とし、人権が尊重される学校づくりに取り組みました。（29ページに再掲）

## 取り組みー7 学校情報通信機器の更新・充実

- ・ ICTを活用した教育環境を整備するため、次の取り組みを行いました。

### ① 学校情報通信機器整備事業

国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒の学力向上や、災害や感染症発生等の緊急時における学びの保障ができるように、小中学校の児童生徒に一人1台のタブレット端末の整備と、高速大容量の通信ネットワーク環境の整備を行いました。

タブレット端末機器整備数

（単位：台）

	小 学 校						中 学 校			合 計
	寄居	桜沢	用土	折原	鉢形	男衾	寄居	城南	男衾	
児童生徒	271	178	161	63	266	414	364	146	222	2,085
教 員	19	12	12	16	24	21	23	21	21	169
合 計	290	190	173	79	290	435	387	167	243	2,254

## 取り組みー8 学校教材の充実

- ・ 学校教材の充実のため、次の取り組みを行いました。

### ① デジタル教科書の導入

授業で活用するため、小学校の算数・社会・英語、中学校の数学・社会においてデジタル教科書を導入しました。教科書を電子黒板やデジタルテレビに表示することで、児童生徒の視覚に訴え、理解を助けることができました。

また、多様な資料によって話し合いが展開しやすくなり、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業が展開され、アクティブ・ラーニングの推進につながりました。

## ② その他教材の購入

教材基準に基づき、跳び箱やプロジェクター等の教材を購入しました。また、ワイヤレスアンプや空気清浄機、二酸化炭素濃度計といった学校生活を送る上で必要な備品の購入を行いました。

## 取り組み－9 子供たちの安全・安心の確保

- ・ 子供たちの安全・安心を確保するため、次の取り組みを行いました。

### ① 小学校遊具安全対策工事

小学校遊具の安全点検結果を受けて、遊具の改修等を行い、児童の安全確保を図りました。

令和2年度に実施した工事

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居小 桜沢小 用土小 折原小 鉢形小 男衾小	遊具安全対策工事	鉄棒修繕工	6箇所
		雲梯修繕工	3箇所
		ジャングルジム修繕工	4箇所
		登り棒安全対策修繕工	2箇所
		複合遊具修繕工	2箇所
		砂場(木枠等)修繕工	1箇所
		平均台修繕工	1箇所
		バスケットゴール修繕工	1箇所
		すべり台他修繕工	3箇所
			1,969

### ② 通学路安全対策事業

学校における交通安全教室の実施や教員による登下校時の安全指導のほか、学校応援団やスクールガードリーダー等、保護者や地域の方による登下校時の見守り活動などにより、交通事故防止や不審者対策に努めました。

## 取り組み－１０ 学校施設の長寿命化

- ・ 学校施設の長寿命化のため、次の取り組みを行いました。

### ① 学校施設個別計画の策定（令和２年度までの継続事業）

「寄居町公共施設等総合管理計画」に基づき、学校の統廃合等の適正配置や長寿命化させていくため、「寄居町学校施設個別計画」を策定しました。

計画策定のための委託業務の概要

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費
寄居町学校施設 個別計画策定支援 業務委託	<b>【作業内容】</b> ・ 学校施設の目指すべき姿の検討 ・ 学校施設の実態調査 （構造躯体の健全性、その他の劣化状況調査） ・ 学校施設の規模・配置計画方針 （統廃合の方針、改修等の基本的考え方、優先順位付けと実施計画、長寿命化コストの見通し）	6,798

### ② 学校施設整備事業

学習環境の改善と施設の長寿命化を図るため、校舎屋上防水工事やプールサイド改修工事を実施しました。

また、老朽化に伴う不良箇所及び法定点検での指摘箇所の修繕等を実施し、学校施設・設備等の安全確保を図りました。

小学校における主な施設整備事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居小	校内内線電話更新工事	内線電話更新 27台	1,953
用土小	西校舎屋上防水改修工事	塗膜防水工（平場、立上り） 63㎡ 伸縮目地工 66m 換気装置設置 1個	1,296
桜沢小	電灯幹線配線改修工事	電灯幹線敷設、接続替え	764

中学校における主な施設整備事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居中	プールサイド改修工事	塗床撤去工 A=237.1㎡、 表面研磨工 A=398.8㎡ 床材吹付工 A=398.8㎡	5,236
男衾中	受変電設備更新工事	既存 PAS, ケーブル撤去 PAS 新設、耐圧試験	1,715

**取り組みー 1 1 男衾中学校の建替え事業の推進**

- ・ 男衾中学校の建替え事業に係る基礎資料作成のため、校舎躯体の健全度調査による老朽化状況の把握や、学校規模等の検討を行いました。

**取り組みー 1 2 学校給食の充実**

- ・ 学校給食の充実のため、次の取り組みを行いました。

① 給食センター運営事業

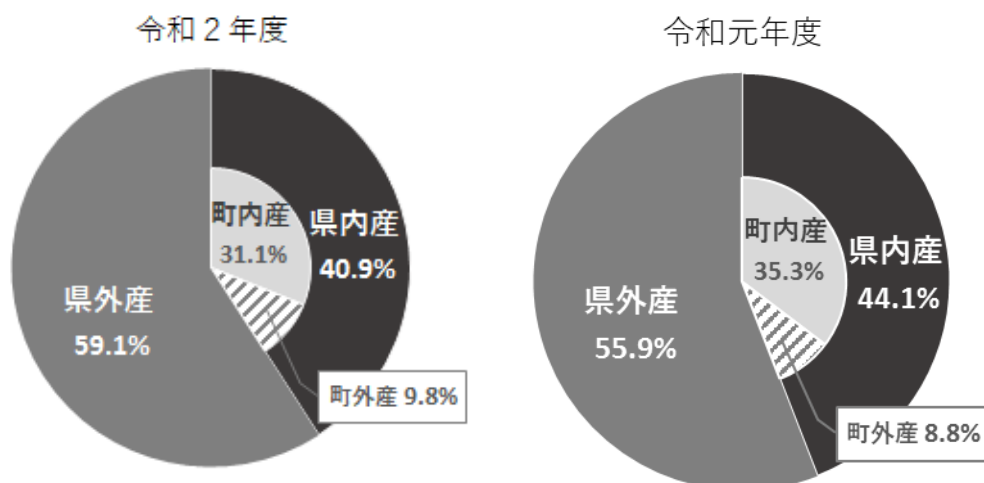
児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持増進などを図るため、それぞれ小・中学校に給食を実施しました（1日約2,340食）。新型コロナウイルス感染拡大防止に係る国の要請に基づく臨時休業のため、小学校169回・中学

校168回実施しました。

また、安全・安心な給食を提供するため、給食従事者を対象に給食衛生講習会、安全運転講習会、健康状態確認などを実施しました。

給食の食材については、野菜類をJAふかや男衾直売所を通じて発注し、地元産野菜の使用に努めました。

#### 地元産野菜の割合



食育の推進については、栄養教諭が児童生徒及び保護者等に対して授業や「食育だより」により、健全な食生活を実践する大切さを伝えました。

献立作りについては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等により、「学校給食元気アップ事業」として、内容の充実やメニューの追加を行いました。また、埼玉県産和牛肉や鹿児島県産のブリ・カンパチを献立に盛り込んで作成しました。

加えて、寄居町と交流の深いブータン王国の料理「パクシャパ（豚肉と大根のスープ）」を給食メニューに取り入れ、異国の食文化について、引き続き児童生徒の理解を深めました。

また、アンケートで人気の献立を提供する「リクエスト給食」、児童生徒の家庭のメニューを取り入れる「わが家のおすすめ献立」、トントロリンスープ（豚肉入りとろみ付きスープ）や焼きとり等の地域オリジナルのメニューで、児童生徒が給食を身近に感じられるような献立作りを行いました。これらの献立については、献立表や給食だよりを通じて保護者にお知らせしました。

給食における食物アレルギーについては、引き続きすべての児童生徒の保護者に食物アレルギー献立表を配布して情報提供を行いました。また、食物アレルギーのある児童生徒の保護者に対して個別面談を行い、対応を決めるとともに、ア

アレルギー献立表の活用について栄養教諭による個別指導を行いました。

また、調理業務委託業者に食中毒防止の徹底についても、引き続き指導し、衛生管理に努めました。

## ② 給食センター施設維持管理事業

安定した給食の提供のため、施設の維持管理に努めました。

主な修繕等の状況

(単位：千円)

事業名	事業費
蒸気ボイラー缶体修繕	3,256
消毒保管機購入	2,398
コンテナ乾燥機モーター外修繕	1,595
蒸気回転釜交換修繕	539
冷凍庫修繕	203

## 取り組みー13 学校運営の改善

- ・ 学校と地域が力を合わせて特色ある学校づくりを進める仕組みとして、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を導入しました。学校毎に2～4回、延べ27回の会議を開催しました。教育課程の編成に関することや学校経営計画に関することの承認をいただいたり、児童生徒や授業についての意見をいただいたりすることで、地域と共にある学校づくりの推進を図りました。

## 取り組みー14 就学援助制度の推進

- ・ 子育て世代の経済的負担を軽減するため、次の取り組みを行いました。

### ① 学校教育振興事業

経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助費等の制度の趣旨を周知し、学用品費等の支給を行いました。

なお、就学援助費については、平成29年度から従来の支給費目に新入学に必要な学用品購入のための新入学準備費を加えたほか、新たにオンライン通信費を費目追加し、入学前の3月中旬に支給しました。

就学援助費等支給人数・支給額

(単位：人、千円)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減
要保護及び準要保護児童 就学援助費（小学校費）	人数	135	160	△25
	支給額	7,244	9,231	△1,987
要保護及び準要保護生徒 就学援助費（中学校費）	人数	106	96	10
	支給額	8,053	10,310	△2,257
合計	人数	241	256	△15
	支給額	15,297	19,541	△4,244

就学奨励費支給人数・支給額

(単位：人、千円)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減
特別支援教育就学奨励費 （小学校費）	人数	16	17	△1
	支給額	446	482	△36
特別支援教育就学奨励費 （中学校費）	人数	5	5	0
	支給額	175	225	△50
合計	人数	21	22	△1
	支給額	621	707	△86

② 修学資金補助事業

修学意欲を有しながら経済的に修学が困難な高校生に、修学資金援助を行いました。

(単位：人、千円)

区分	令和2年度	令和元年度	増 減
人数	38	38	0
支給額	2,235	2,275	△40

③ 給食費補助事業

多子世帯の経済的負担の軽減を図り、子育ての応援を目的とした、第3子以降の児童生徒に対する給食費補助について、引き続き実施しました。

(単位：人、千円)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減
小学校	人数	173	176	△3
	補助額	6,805	7,084	△279
中学校	人数	44	39	5
	補助額	2,176	1,918	258
合計	人数	217	215	2
	補助額	8,981	9,002	△21

### 取り組みー15 新型コロナウイルス対策

- 既に掲げたもののほか、コロナ禍において安全・安心な学校生活を送れるよう、国や県の交付金や補助金を利用して次の取り組みを行いました。

#### ① 小中学校感染症のための消毒液購入

学校再開後の運営にあたり集団感染を防止するため、消毒液を購入し、各学校へ配布しました。

事業内容について

(単位：円)

区分	決算額	内 訳
小学校	528,000	44,000円×消毒液12箱(240ℓ)
中学校	264,000	44,000円×消毒液24箱(240ℓ)
合 計	792,000	

#### ② 学校施設感染症対策工事

感染リスク低減のため、小中学校の水道蛇口ハンドルを回転式からレバー式へ交換したことにより、肘や手の甲での開閉が可能となったため、手洗い後のウイルスの付着等を防止し感染リスクの低減が図られました。また、折原小学校に網戸を設置し、十分な換気を行うことにより密閉を避けることができました。



工事の概要について

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
全小中学校	水道ハンドル交換工事	水道ハンドル交換 小学校：909箇所 中学校：669箇所	3,056
折原小	網戸設置工事	網戸設置 96枚	1,155

③ 中学校3年生応援事業（商品券配布）

コロナ禍により、義務教育最後の年にこれまで通りの学校生活や部活動ができなかった中学3年生を応援するため、生徒の家庭に対し1人につき3万円の商品券を配布しました。

事業内容について

(単位：円)

事業名	決算額	内 訳
中学校3年生応援事業	7,590,000	30,000円×248人

④ 修学旅行等キャンセル料補助事業

コロナ禍により中止となった修学旅行とスキー教室のキャンセル料を補助することにより、家庭の負担や不安を軽減することができました。

事業内容について

(単位：円)

事業名	決算額	内 訳
中学校修学旅行 キャンセル料支援	1,169,842	寄居中 591,085円 城南中 229,632円 男衾中 349,125円
中学校スキー教室 キャンセル料支援	165,262	寄居中 80,850円 城南中 32,938円 男衾中 51,474円
合 計	1,335,104	

## 施策2 生涯学習環境の充実

### 取り組み-1 学習講座の開催

- ・ 町民の文化の振興を目的に社会教育の場を提供するため、以下の事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受講の申し込みが減少し、10回の実施となりました。

「まちづくり出前講座」実施状況

(単位：回、人)

区分	実施回数	受講者数
令和2年度	10	284
令和元年度	36	913
増減	△26	△629

### 取り組み-2 子どもたちの夢への支援（芸術・文化活動）

- ・ 子どもたちの夢への支援のため、近隣の大学の講師によるプログラミングの講義を通じ、子どもたちの好奇心を刺激する場を提供する「子ども大学よりい」を下記のとおり計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

(単位：人)

区分	内容	延べ参加者数
令和2年度	プログラミングでロボットを動かそう！ (1日) マイクロビットでプログラミングにチャレンジ！(1日) リモート授業に挑戦！プログラミング教室 (1日)	—
令和元年度	君もできる！プログラミング超入門(1日) プログラミングでゲームを作ろう(1日) マイクロビットで電子工作に挑戦！(1日) 明治お菓子工場見学(1日)	148
増減		△148

### 取り組み－3 図書館の充実

- ・ 図書館運営事業として、次の取り組みを行いました。

図書館資料の整備・充実を進めるとともに、図書館に来館しなくてもパソコンやスマートフォンで本が読める電子図書館を導入し、電子図書の貸出を開始しました。また、図書除菌機を館内に設置し、安全、安心で快適なサービスを提供しました。

#### ① 日常開館業務 (単位：日、人、点)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減
開館日数	254	258	△4
入館者数	49,994	79,507	△29,513
有効登録者数	3,798	4,944	△1,146
貸出人数	36,775	47,188	△10,413
貸出点数	200,304	226,518	△26,214

※有効登録者数：年度内に図書館資料の貸出を受けた登録者数

※貸出点数には電子図書の貸出を含む。

#### ② 移動図書館事業 (単位：回、冊)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減
運行回数	140	158	△18
貸出冊数	40,335	39,458	877

#### ③ 電子図書館の導入 (単位：点)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減
電子図書数	2,784	—	—
貸出点数	1,588	—	—

## ④ 図書館資料の整備・充実

(単位：冊、点、紙)

区 分		令和2年度	令和元年度	増減
図書を受入	購入冊数	4,721	4,626	95
	寄贈冊数	491	734	△243
	計	5,212	5,360	△148
	うち寄居関 連図書冊数	45	61	△16
視聴覚資料を受入	購入点数	92	83	9
	寄贈点数	3	5	△2
雑誌を受入	購入等冊数	2,256	2,365	△109
除籍冊数	図書及び 視聴覚資料	787	598	189
	雑誌	1,922	2,155	△233
蔵書冊数 (年度末)	図書及び 視聴覚資料	195,335	190,815	4,520
	雑誌	25,217	24,883	334
新聞の受入数		11	11	0
フリーペーパーの受入数		26	26	0

## ⑤ 図書館利用促進事業

区 分	令和2年度	令和元年度	増減
図書館関連記事の新聞掲載	5回	1回	4
施設見学	6件	8件	△2
	210人	378人	△168
読書通鳥100冊達成 認定書の発行	254枚	183枚	71

## ⑥ 児童生徒への貸出冊数

(単位：冊)

区 分		令和2年度	令和元年度	増減
町内児童・生徒 1人当たりへの 平均年間貸出 図書館資料数	小学校1～3年児童	39.8	27.5	12.3
	小学校4～6年児童	26.7	12.3	14.4
	中学校生徒	2.7	2.4	0.3

## ⑦ 主催、共催事業

(単位：回、人、件、点)

区 分		令和2年度	令和元年度	増減	
映画会	ミニシアター	実施回数	2	11	△9
		参加者数	22	152	△130
	子ども映画会	実施回数	3	11	△8
		参加者数	56	378	△322
	図書館寄席	実施回数	1	5	△4
		参加者数	14	103	△89
朗読活動件数 (図書館広報誌朗読録音)		3	1	2	
布絵本製作活動作品数		2	2	0	

## 取り組みー4 社会教育施設の維持管理

- ・ 社会教育施設維持管理事業として、男衾コミュニティセンターの非常用照明バッテリーの交換修繕や鉢形コミュニティセンターの空調機器修繕等を行いました。

## 取り組みー5 中央公民館の維持管理

- ・ 中央公民館の維持管理事業として、高圧受電設備修繕、空調設備修繕、トイレ修繕、エレベーター照明修繕、誘導灯修繕、消防用設備修繕を行いました。

## 施策3 スポーツ環境の充実

### 取り組み-1 生涯スポーツの推進

- 生涯スポーツの推進のため、次の取り組みを行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用件数や実施回数が減少しました。

#### ① 学校施設開放運営事業

町民がスポーツに親しめる場や機会を提供するため、小・中学校9校の運動場、体育館、武道場を開放しました。

学校施設開放の利用状況

(単位：件、人)

学校名	令和2年度		令和元年度		増減	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
寄居小学校	240	6,189	552	13,590	△312	△7,401
桜沢小学校	162	2,427	458	7,322	△296	△4,895
用土小学校	138	1,902	481	8,040	△343	△6,138
折原小学校	108	1,871	338	6,243	△230	△4,372
鉢形小学校	135	2,087	495	8,534	△360	△6,447
男衾小学校	125	2,630	431	8,430	△306	△5,800
寄居中学校	61	1,401	242	4,210	△181	△2,809
城南中学校	126	1,733	287	4,182	△161	△2,449
男衾中学校	138	2,991	458	10,067	△320	△7,076
合計	1,233	23,231	3,742	70,618	△2,509	△47,387

#### ② スポーツ活動推進事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町のスポーツ活動事業は中止しました。町体育協会の関係団体が開催する種目別大会を3事業支援しました。

各種スポーツ大会等の開催状況

(単位：回、人)

区分	令和2年度		令和元年度		増減	
	事業数	参加者数	事業数	参加者数	事業数	参加者数
種目別大会	3	174	24	3,022	△21	△2,848
町体育協会 共催事業	0	0	1	705	△1	△705
合計	3	174	25	3,727	△22	△3,553

また、町民の体力向上と健康増進を図るため、毎年実施している町民健康増進ウィーク事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

**取り組み-2 スポーツによる町の活性化**

- ・ スポーツによる町の活性化を図るため、次の取り組みを行いました。
- ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、駅伝競走大会をはじめ各種スポーツ大会は中止しました。また、令和2年度予定されていた東京2020東京オリンピック・パラリンピックが延期されたため、当初計画していた出場選手のパブリックビューイングやパラリンピック採火式等は次年度へ延期しました。
- ② 全国大会等へ出場した選手の激励と紹介、さらには広く町民へのスポーツ参加意欲の高揚を図るため、庁舎に懸垂幕を掲出しました。

懸垂幕掲出事業の概要

(単位：本)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
懸垂幕	11	13	△2

**取り組み-3 スポーツ施設の充実**

- ・ 寄居運動公園維持管理事業及び総合体育館維持管理事業として、施設の運動環境整備を実施すると共に、施設の機能保全に努めました。

寄居運動公園・総合体育館等の利用状況

(単位：件、人、千円)

施設名	令和2年度			令和元年度			増減		
	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料
総合体育館・アタゴ記念館	1,134	20,933	169	1,802	43,407	229	△ 668	△ 22,474	△ 60
寄居運動公園	1,526	17,479	580	2,038	31,682	692	△ 512	△ 14,203	△ 112
グラウンド	87	3,712	146	156	10,384	292	△ 69	△ 6,672	△ 146
テニスコート	780	6,377	360	897	7,208	316	△ 117	△ 831	44
カタクリ体育センター	414	2,742	74	674	7,127	84	△ 260	△ 4,385	△ 10
自由広場	245	4,648	—	311	6,963	—	△ 66	△ 2,315	—
計	2,660	38,412	749	3,840	75,089	921	△ 1,180	△ 36,677	△ 172

取り組み－４ スポーツ活動団体の支援

- ・ スポーツ活動団体の支援のため、寄居町体育協会及び寄居町スポーツ少年団本部への補助金交付や両団体の各種主催事業の運営支援を行いました。

施策４ 青少年の健全育成

取り組み－１ 地域ぐるみの育成支援

- ・ 地域ぐるみの育成支援として、次の取り組みを行いました。

① 家庭教育支援事業

保護者の家庭教育力の向上と保護者同士のネットワーク形成を図る「家庭教育学級」及び「すこやか子育て講座」を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「家庭教育学級」「すこやか子育て講座」とともに、参加者数が令和元年度と比べて減少しました。



「家庭教育学級」「すこやか子育て講座」の参加者数

(単位：人)

区 分		寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計
家庭教育学級	令和2年度	9	124	—	35	62	21	251
	令和元年度	68	75	177	135	86	42	583
	増 減	△59	49	△177	△100	△24	△21	△332
子育て講座	令和2年度	32	24	7	44	64	21	192
	令和元年度	60	26	11	50	75	19	241
	増 減	△28	△2	△4	△6	△11	2	△49

② 社会教育団体支援事業

社会教育団体への支援として、次の団体に補助金を交付し、それぞれ青少年健全育成に関する事業が行われました。

社会教育団体への補助金を通じた取り組み

(単位：千円)

団体名	補助金額	事業概要
寄居地方ユネスコ協会	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第15回わたしの町のたからもの」絵画展【中止】</li> <li>・寄居地方ユネスコ少年少女合唱団10周年記念誌発行</li> </ul>
寄居町PTA連合会	81	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育委員会 中止</li> <li>・進路対策委員会 1回開催</li> </ul>
青少年健全育成協議会 (3中学校区)	400	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロール 通年</li> <li>・祭り巡視活動【祭り中止】</li> <li>・教育講演会 【中止】</li> </ul>
寄居町青少年健全育成 町民会議	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン 23人参加、啓発品230個配布(男衾中学校区健全育成協議会のみ実施)</li> <li>・視察研修会【中止】</li> <li>・道徳講演会【中止】</li> <li>道徳実践発表 職員が各学校に出向きビデオカメラで発表を録画し、DVDを各学校に配布</li> </ul>

### ③ こどもの居場所づくり事業

こどもの居場所づくり支援として、次の取り組みを行いました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「子どもギネス大会」は中止しました。

「子ども博士検定」の参加者数 (単位：人)

区 分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計	博士(※)
令和2年度	11	5	1	3	12	5	37	13
令和元年度	14	6	4	4	14	5	47	6
増 減	△3	△1	△3	△1	△2	0	△10	7

※ 参加者のうち、「博士」に認定された人数。

## 取り組みー2 いじめ対策の強化

- ・ いじめの未然防止や早期発見、いじめに対する措置等のため、次の取り組みを行いました。

### ① いじめ問題対策連絡協議会の活動

いじめ問題対策連絡協議会を2回実施し、いじめ問題に対する各校の取り組みについての情報交換を行いました。いじめ問題に対する認識の共有化を図るとともに各校の取り組みを見直すきっかけとすることができました。

### ② いじめ問題把握調査の実施

いじめの早期発見、早期対応のために、各学校で「いじめ問題把握調査」を行いました。調査結果は、毎月教育委員会に報告書が提出され、いじめが解消されるまで経過を注視しました。

町立小・中学校におけるいじめ報告件数と解消率 (単位：件、%)

区 分	報告件数	解消(※)率
小学校	58	100
中学校	20	95
計	78	99

※ 「解消」とは、文部科学省「いじめの防止等のための基本的な方針」における「いじめが解消されている状態」を指し、「いじめ行為がやんでいる状態が3ヶ月以上継続」かつ「被害者が心身の苦痛を受けていない」という条件を満たす状態。

## 第6次寄居町総合振興計画における基本方針

### 「活躍の場の充実」

【異なる国や地域、文化との交流を図り、そこで培われた町民の力を地域の課題解決に活かす場を充実させます。】

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」
- 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策1 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援

#### 取り組みー1 ボランティアの人材育成

- ・ 鉢形城公園内の案内をするボランティア案内人の令和2年度の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自粛しました。

ボランティア案内人による案内解説活動状況 (単位：団体、人)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減
利用団体数	0	59	△59
利用人数	0	1,313	△1,313
案内人出役総数	0	92	△92

#### 取り組みー2 寄居うん蓄の発掘・ストック

- ・ 分野を問わず、優れた知識・技能・経験・文化的素養等を郷土寄居の文化振興のため、奉仕の精神をもって他者に伝える意欲のある人を発掘・ストックすることを目的に、寄居生活学の達人の更新手続きを行いました。

寄居生活学の達人 登録者数

(単位：人)

区 分	令和2年度	平成元年度
更新者数	39	39
新規登録者数	0	1
計	39	40

## 施策2 地域間交流・国際交流の推進

### 取り組みー1 メアリーズビル市との交流

- ・ 国際交流の一環として、米国オハイオ州メアリーズビル市へ寄居町の生徒を派遣する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「一人ひとりを尊重する地域づくり」

【一人ひとりがお互いの権利を尊重し、性別・年齢・国籍・障害の有無などによるバリアを感じることなく、自分らしく社会に参画できる地域づくりを進めます。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「2. 豊かな心と健やかな体の育成」

施策1 人権尊重と相互理解の促進

取り組みー1 人権教育・啓発の推進

- ・ 人権尊重社会の実現に向け、人権に対する正しい理解を深めるため、次の取り組みを行いました。

① 人権教育推進事業

同和教育や人権教育の推進、人権尊重精神の高揚のため、人権教育推進協議会を中心に啓発活動や研修会を実施しました。

毎年3月に発行する人権教育啓発広報誌「みんなのねがい」では、人権に関する様々な運動や記念日を周知するため、カラーリボン運動及び人権啓発カレンダーについて特集し、周知を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症に関する誤解や偏見に基づく差別を防ぐため、広報誌を作成し、毎戸配布しました。

団体名	事業内容
人権教育推進協議会	人権教育研修会の実施（3回、76人）、啓発広報誌発行、懸垂幕設置、啓発DVDの購入

② 集会所運営事業

集会所事業において、小・中学生学級では、教科学習、人権学習への参加を通じた学力向上や仲間づくりにより、人権を大切にする児童生徒の育成に努め

ました。

また、女性学級では、教養文化の向上と地域・世代間交流を深めるため、編み物教室や生け花教室を実施しました。

集会所事業実施回数及び参加者数 (単位：学級、回、人)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
学級数	6	6	0
実施回数	47	108	△61
参加者	410	773	△363

### ③ 人権教育研究委嘱事業の取り組み

人権教育の研究を2校（男衾小学校・城南中学校）に委嘱し、男衾小学校は「自他の大切さを認め、仲間を愛し、夢に向かい、自分を高められる児童の育成～なかまタイムの授業実践を通して～」、城南中学校は「豊かで思いやりのある心を育む人権教育の推進～自他のよさや違いを認め合い、主体的・協働的に行動できる生徒の育成を目指して～」を研究主題とし、人権が尊重される学校づくりに取り組みました。

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

## 「歴史の継承、文化の振興」

【史跡や文化財などの歴史資源の保護とともに、祭りや伝統行事を継承し、歴史や文化的な豊かさを感じられるまちを目指します。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策1 歴史資源の保護・継承

#### 取り組みー1 歴史と文化を活かしたまちづくり

- ・ 歴史と文化を活かしたまちづくりを進めるために、文化財を次のとおりに適切に保存・管理しました。また、史跡鉢形城跡伝逸見曲輪の確認調査では、令和元年度に確認した虎口に、礎石を持つ門跡や石積が検出され、数回にわたり門が作り替えられた状況が確認されたことから、この虎口が重要な場所であったことが判明しました。

① 町内遺跡発掘調査事業

開発行為等に伴う試掘調査の結果と保護措置 (単位：件)

試掘調査結果	保護措置	件数
遺構等検出	発掘調査(※1)	2
	工事立会い(※2)	6
	計	8
遺構等未検出	慎重工事(※3)	12

※1 発掘調査 : 発掘された遺構等の現状保存が不可能なため発掘調査を行った。

※2 工事立会い : 発見された遺構等を保存するために必要な措置を講じた上、工事立会いを行った。

※3 慎重工事 : 遺構等が発見されなかったため、慎重工事を行った。

発掘調査件数

(単位：件)

内 容	発掘調査遺跡名	件数
記録保存のための 発掘調査	むじな塚遺跡（13次）・赤浜遺跡（3次）・東 伴場地遺跡（10次）	3
遺跡範囲確認調査	史跡鉢形城跡	1

報告書刊行にかかる業務

(単位：件)

内 容	発掘調査遺跡名	件数
発掘調査結果の整理 及び報告書刊行	桜沢窯跡第2支群、むじな塚遺跡（13次）、東 原遺跡（3次）、東伴場地遺跡（9次）、塚田遺 跡（1～4次）、露梨子遺跡（8次）整理作業	6
	桜沢窯跡第2支群、むじな塚遺跡（13次）、東 原遺跡（3次）、東伴場地遺跡（9次）刊行	3

**取り組み－2 鉢形城公園の維持管理・活用**

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鉢形城公園の活用事業は自粛しました。園内の散策に良好な環境を提供するために、除草作業や樹木の剪定等を実施しました。

**取り組み－3 史跡鉢形城跡保存整備の推進**

- ・ 史跡鉢形城跡保存整備の推進のため、次の取り組みを行いました。

鉢形城跡保存整備事業

(単位：回)

事業名	回数	内 容
鉢形城跡発掘調査指導委員会	1	伝逸見曲輪の確認調査方法等について指 導をいただいた。
		門跡が確認された。

- ・ 史跡鉢形城跡を恒久的に保存し、公開するために、史跡公園用地として史跡内の民地を購入しました。

大字鉢形字城 2559-2 他 計 1,090.81 m<sup>2</sup>



大字鉢形字木持 2511-8 他 計 760 m<sup>2</sup>

合計面積 1,850.81 m<sup>2</sup>

- 令和元年度の台風 19 号で被災した鉢形城公園の復旧工事を実施しました。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
鉢形城公園法面復旧工事	堀跡法面 2 箇所 25.7 m <sup>2</sup>	1,738
鉢形城公園土塀復旧工事	土塀修繕 23 m <sup>2</sup>	473

#### 取り組み－4 鉢形城歴史館の管理・運営

- 鉢形城歴史館の魅力ある展示やイベントの開催など管理運営を行いました。

鉢形城歴史館利用状況

(単位：人、円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減
入館者数	8,956	15,198	△6,242
有料入館者	6,680	9,977	△3,097
無料入館者	2,076	5,221	△3,145
入館料	1,361,300	1,939,800	△578,500

企画展

(単位：人)

展覧会名	内 容	期 間 (日間)
令和2年度秋季企画展「戦国を彩る武器」	甲冑歴史研究者である伊澤昭二(いざわしょうじ)氏のコレクションを中心に関東にゆかりのある武将たちが所有していたと伝わる甲冑や軍配、刀・槍などを展示した。	令和2年10月10日～ 令和2年11月29日
		入館者数 2,974

## 施策2 伝統文化の継承

#### 取り組み－1 地域の伝統行事の保護・継承

- 地域の伝統行事の保護・継承のため、町指定文化財保存会に対し補助事業を行

っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保存会の活動は、中止となりました。

### 施策3 文化活動の充実

#### 取り組み-1 合同開講式の開催

- 生涯学習機会の向上を図るため、公民館講座事業として、町民の要望に応じた各種講座・教室を開催しました。なお、合同開講式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

講座・教室等の概要

(単位：人、千円)

種別	講座・教室数	参加者	事業費
IT	0	0	0
音楽	1	42	20
外国語	0	0	0
料理	0	0	0
芸術・文化	5	183	122
子育て支援	3	35	15
健康増進	4	196	89
合計	13	456	246

#### 取り組み-2 文化講演会の開催

- 文化活動の充実のため、林家たい平氏を講師に招き、文化講演会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

#### 取り組み-3 文化活動団体への活動支援

- 文化活動団体への活動支援のため、次の取り組みを行いました。
  - 文化団体支援事業
 

文化団体連合会と文芸懇話会について、団体の活動支援として会の運営に必要な補助金を交付しました。

事業名	内容	成果
文化団体連合会支援事業	加盟団体の活動の集約として 文連たより（55号）の発行	700部発行
寄居文芸懇話会支援事業	寄居文芸の発行（130～132号）	1,000部発行

## ② 公民館運営事業

- ・ 生涯学習まつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止しました。
- ・ 中央公民館の利用状況及び中央公民館利用団体協議会加盟団体数は以下の通りです。

中央公民館利用状況 (単位：件、人、千円)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
利用件数	1,337	3,144	△1,807
利用者数	14,162	62,819	△48,657
使用料	370	1,509	△1,139

中央公民館利用団体協議会加盟団体 (単位：団体)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
加盟団体数	63	57	6

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「自然資源の保全・継承」

【美しい山並み、水の循環、多様な動植物の生息・生育環境など、町の誇りであり貴重な財産である豊かな自然環境を保全・継承します。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 自然環境の継承

取り組みー1 健全な自然環境・緑の保全

- ・ 自然環境保全のため、ミミカキグサやモウセンゴケの生育環境保全を実施してまいりましたが、令和元年の台風19号の影響により、事業地への進入路が塞がれたため、生育保全地区での作業は着手できませんでした。

天然記念物保護増殖事業

名称	内容
県指定天然記念物「ミミカキグサとモウセンゴケ自生地」保護事業	環境整備作業

株数の変化

(単位：株、㎡、箇所)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
モウセンゴケ株数	0	40	△40
自生面積	0.5	0.5	0
自生圃場数	3	3	0

## IV 結びに

### 識者の評価並びに意見・提言（識者：鴻野 年伸 氏）

#### 1 はじめに

令和2年度の寄居町教育委員会事務の管理及び執行は、前年度の台風19号の影響が若干残る中、依然として猛威を振るい続ける新型コロナウイルス感染拡大防止のための様々な対応（以下「コロナ禍」とする）により大きな影響を受けていることが改めてわかりました。

そうした状況の中で「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により実施していただきました本評価・点検は効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たす十分なものであると高く評価できます。

平成29年度から令和8年度を計画期間とする「第6次寄居町総合振興計画基本構想」の中に、寄居町教育行政の主要施策が掲げられ「真の学ぶ力を身につけた未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、体系的組織的に教育行政重点施策に取り組まれたことがよくわかりました。併せて近年例を見ないこのような状況の中であって、また長期化する兆しさえ伺わせるこのような状況の中でもたいへんな御尽力をいただいたことがよく伝わって参りました。

#### 2 点検・評価結果について

点検・評価結果について、記載の順に気付いたことを記させていただきます。また、意見や提言等があるものについては併記させていただきます。

##### （1）[成長と学びの環境の充実] について

[成長と学びの環境の充実]の学校教育と教育環境の充実ですが、社会の変化に対応し、生き抜くために必要な資質・能力を備えた子どもたちを育むための新学習指導要領の全面実施に伴う取組を着実に行っていただきました。

確かな学力の育成は、真の学ぶ力を身につけ、自らの未来を切り拓くことができるよう、基礎的な知識や技能はもちろん、学ぶ意欲や思考力・判断力など、確かな学力の育成のために、現在のそしてこれからの学びに不可欠であるアクティブ・ラーニングを取り入れ、また更に効果的なICT活用の推進に努めていただき児童生

徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業創りに努めていただきました。その効果を更に確かなものにする「放課後サポートスクール事業」を充実させ、主に算数の授業の補充をおこない、児童約8人に1人のサポーターを配置し前年度の児童約15人に1人の配置からほぼ倍増していただいたことは、更によく児童に目が行き届き、きめ細やかな指導を行う上で効果的なことであります。実施回数については6回の減となっていますがコロナ禍によりやむを得ないところであると考えます。

「土曜サポートスクール事業」に対して5割以上の参加を見るに至っている点は、この事業が中3生徒の期待を担い定着してきていることの表れであり、また学習習慣を定着させるため集合型の対面授業と非集合型のオンライン授業を組み合わせ実施していただいた結果、98%という高水準で希望校への合格という実績につながっている点は評価できることであると考えます。

「学力向上推進委員会の取り組み」として学力向上推進委員会を書面開催で行い、各校の情報交換を行うとともに、学力向上に向けた手立てを共有することができ、県の指導のもとで、県学力・学習状況調査のデータの児童生徒への活用法を共有し、実施していただきました。また、オンライン授業の実施方法の課題について推進委員の皆さんと研究を進めていただけたのはありがたいことです。

オンライン授業の実施については、今や待ったなしの学びのためのツールとして児童生徒に提供すべきものとして考えます。さしあたりコロナ感染拡大防止への対応として有効でありますし、全ての人にグローバルで革新的な入り口を提供するために必要不可欠なものであると考えます。

「英語教育の推進」では令和2年度に中学校の新学習指導要領が全面実施され、その前年度に教科化された小学校5・6年生の外国語、そして3・4年生の外国語活動の導入に対して正面から取組を行い、これらのことを踏まえて、ALTの効果的活用法やデジタル教科書等ICTの効果的な活用法について研究をすすめていただきました。なかなか対面での研究会が持ちにくく、研究推進も困難があるところですがICTをはじめとするこの分野の研究は更に推進していただきたいと考えます。

「中学校英語検定無償化事業」では、受検費用の全額を町が負担し英検受検者の割合が、前年度と比較して2年生は5.8%増加し、また、この事業を利用して英検3級以上を取得した生徒の割合が、3年生が7.0%の増加、2年生が2.0%の増加であったのは素晴らしいと思います。

「健やかな体づくり」のための専門的な技術を有する指導員3名と支援員1名を3中学校に配置し、放課後や休日の部活動を支援することで、部活動の一層の充実と教職員の負担軽減を図っていただきました。部活動指導員の配置が1名増えたということは素晴らしく、また、学校の臨時休業期間中等の部活動停止期間における在宅勤務を含むとはいえ、大幅に専門的な技能を有する指導員の指導が生徒に届けられているということはよいことであると考えます。第2第3の設楽選手・新井選手・原口選手のような名選手の出現に期待が高まる思いです。また、教職員の働き方改革も含め、より適正のある指導者を幅広く募ることが望ましいと考えます。

「体力向上推進委員会の取り組み」では寄居小学校で感染防止策を講じながらICTを活用した研究授業を実施し、授業モデルの提案を行っていただきました。この取組は寄居町内の児童生徒の体力の高い水準を保っていることを下支えしており、寄居町の大きな特色ですので是非継続していただきたいことです。

「インクルーシブ教育の推進」についてですが、教育サポートセンターにおいて子育ての悩みについて相談に応じていただいていることは、大きな安心の源となっています。コロナ禍の中で電話相談や来所相談件数は減少しているものの、特に専門機関との連携を明記していただいたことで安心の度合いが増していることがわかります。専門機関からの、より正しいアドバイスが受けられるよい取組となっていると思われます。昨今の幼児・児童・生徒を取り巻く環境は、また、その保護者を取り巻く環境は決して楽観できるものではなく、悩みを抱える方々へのサポートができる環境を整えることが大切ではないかと考えます。

学校サポーター事業の充実により学習支援サポーターを30人、介助サポーターを15人配置し、昨年度と比較し計6名の増員をしていただきました。また学校サポーターの人数が増加したことで、支援が必要な児童生徒と通常学級の児童生徒との交流が増え、インクルーシブ教育の推進が図られています。更に、各学校1名のスクール・サポート・スタッフを配置し、新型コロナウイルス感染拡大対策としての校内の消毒業務を行っていただいたことは時宜を得た取組であると考えます。

「特別支援教育事業」では臨床心理士や教育サポートセンター相談員、さわやか相談員やスクールカウンセラーと連携して41人に対しWISC検査を実施していただきました。児童生徒の特性を客観的に把握し、「多様な学びの場」があることを保護者に伝えることにより、児童生徒が「安心して学べる」という個に応じた教育支援を積極的に行っていただいています。人にはそれぞれかけがえのない個性や特性があり、将来その個性や特性を存分に発揮して社会を支えていただく必要があります。

ます。前年度の34人の実施から41人の実施へとWISC検査数が増えたということとはとても好ましいことであると考えます。

「教職員の資質向上」については児童生徒への質の高い教育を行う上で、教職員の資質を常に向上させることが不可欠です。「より・Eスーパーアドバイザー事業」を始め、教育技術に優れた専門性の高いアドバイザーが指導技術や教育の理念等を指導しつつ巡回することは指導技術のみにとどまらず教師としての在り方等にも重要な影響を与えることができるものと考えます。

研究委嘱による研究テーマに沿った学校の全職員の取組は、教職員の資質向上を経て、より質の高い教育の実現に直結するものと考えます。

「学校情報通信機器の更新・充実」では学校情報通信機器整備事業により小中学校の児童生徒1人に1台のタブレット端末が届けられ、高速大容量の通信ネットワーク環境の整備が行われたことで、児童生徒の学力向上や災害や感染症発生等の緊急時における学びの保障につながられるようになり大変ありがたいことです。特に、タブレット端末を使用しての遠隔授業は感染拡大が懸念される段階で非常に有効であり大切な学びの保障につながるものであると考えます。今後は、緊急避難的な授業の補完手段としてだけでなく、タブレット端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びにより「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」を実現し、教育課程に基づく各教科等の特質に応じた「ねらい」を達成できる授業創りを目指した取組を行っていくことが大切であると考えます。それによって全ての児童生徒に、更には将来の社会を担う全ての人々にグローバルで革新的な入り口を提供することにつながって行くと考えます。

「子供たちの安全・安心の確保」では、小学校遊具安全対策工事、通学路安全対策事業等により子供たちの安全・安心を確保するため、計画的に遊具安全対策工事を実施していただいたり見守り活動などを実施していただいたりしました。大阪で発生したブロック塀の倒壊による痛ましい事故については決して風化させてはいけないことでもあります。その安全の確保のために取り組んでいただいたことはたいへんありがたいことです。「潜在危険は必ずある」と捉え、これからも引き続き継続した取組に期待いたします。

「学校施設の長寿命化」では前年度の学校施設の老朽化状況等を把握するための点検・調査により計画策定した基礎資料により、学校の統廃合等の適正配置や長寿命化していくため、「寄居町学校施設個別計画」を策定していただきました。限られた予算の中で、長寿命化を図ると同時に学校の統廃合等についての個別の具体的な



計画が慎重に策定されつつあると考えます。厳しいととらえると同時に避けて通れないところでもあると考えます。

「学校施設整備事業」では前年度より小中併せて365万円の増額を伴いながら事業を進めていただきました。特に中学校のプールサイド改修工事や受変電設備更新工事を実施していただきました。施設設備の安全・安心及び維持管理に必要なコストをかけていただいたと考えます。

「男衾中学校の建替え事業の推進」では、校舎躯体の健全度調査による老朽化状況の把握や、学校規模等の検討を行っていただきました。是非早めの検討をいただくための本事業推進の加速化に期待します。

「学校給食の充実」では国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用や、埼玉県産和牛肉を取り入れたり寄居町と交流の深いブータン王国の料理を給食メニューに取り入れたりし、多くの工夫を加えていただきました。また、地元産野菜の使用に努めていただきました。しかし町内産や県内産の率が共に減少しています。食材の多様化や生産できる食材の特性から仕方がないことかもしれませんが引き続き御尽力いただければ有り難いと考えます。食物アレルギーへの対応は、引き続きお願いいたします。

「就学援助制度の推進」では新入学に必要な学用品購入のための新入学準備費を加えたほか、新たにオンライン通信費を費目追加し、入学前の3月中旬に支給していただきました。オンライン通信の必要性は今後益々高くなりますので有り難いこととあります。

また、「修学資金補助事業」として修学意欲を有しながら経済的に修学が困難な高校生に、修学資金援助を行っていただいたことや給食費補助事業として多子世帯の経済的負担の軽減を図り、子育ての応援を目的とした、第3子以降の児童生徒に対する給食費補助については、今後も引き続き実施していただきたいこととあります。

「新型コロナウイルス対策」として、コロナ禍において安全・安心な学校生活を送れるよう、国や県の交付金や補助金を利用して消毒液購入や水道蛇口ハンドルを回転式からレバー式へ交換したり換気のための網戸を設置したりしていただき感染リスクの低減を図っていただきました。また、中学校3年生応援事業を設けていただき（商品券配布）修学旅行のキャンセル料などの補助をしていただきました。該当する保護者の方々にとって有り難いことであったと考えます。

続いて、[成長と学びの環境の充実]の生涯学習環境の充実、スポーツ環境の充実、青少年の健全育成についてですが、広範囲にわたりたいへん充実した内容であると考えます。

まずその中でも「子どもたちの夢への支援(芸術・文化活動)」では子どもたちの夢への支援のため、大学の講師によるプログラミングの講義を通じ、子どもたちの好奇心を刺激する場を提供する「子ども大学よりい」を計画していただきましたが、コロナ禍のため中止となりました。プログラミングをはじめ、子どもたちの夢への支援は状況が許されるようになり実施できるようになることを期待したいと思います。

また、「図書館の充実」では貸出人数や貸出点数などが減少し、図書館への入館者数では前年度比29,513人の減少となるなどコロナ禍の影響は確実に現れていることが伺えます。そうした中で令和2年度から図書館に来館しなくてもパソコンやスマートフォンで本が読める電子図書館を導入し、電子図書の貸出を開始していただきました。その実績として電子図書数2,784点、貸出点数1,588点というスタートを切っていただきました。また、図書除菌機を館内に設置し、安全、安心で快適なサービスを提供していただきました。電子図書館については、今後の感染状況がどのようになるかきわめて不透明ではありますが、大切にしたい図書館業務であると考えます。また、児童生徒への貸出冊数が大きく伸びていることは「読書通鳥」の成果を含め大いに評価できることであると考えます。

スポーツ環境の充実の「生涯スポーツの推進」では生涯スポーツの推進のため、学校施設開放やスポーツ活動推進事業を実施していただきましたが、コロナ禍の影響により利用件数・実施回数の減少や中止を余儀なくされておりました。感染拡大を防止するという観点から、やむを得ないことであると考えます。

「スポーツによる町の活性化」でも駅伝競走大会をはじめ各種スポーツ大会は中止となり東京2020東京オリンピック・パラリンピックが延期されたり、パラリンピック採火式等が延期されたりしたことはやむを得ないことではありながらも残念なことでした。しかし、庁舎に掲出する懸垂幕は広く町民へのスポーツ参加意欲の高揚を図るために効果的であり励みになると考えます。是非継続していただければよろしいと思います。

青少年の健全育成では地域ぐるみの育成支援の家庭教育支援事業、社会教育団体支援事業、こどもの居場所づくり事業についても実施できた事業や中止せざるを得なかった事業があり、また、実施したものの参加者数が減少したり開催回数が減少したりして、やはりコロナ禍の影響が出ていると感じます。

「いじめ対策の強化」については、いじめの報告数が小学校、中学校ともに前年度に比べて減少しておりまた解消率が小学校では100%で素晴らしいと思います。しかし、この件に関しては、決して楽観は許されず、常に細心の注意を払い継続的に児童生徒に寄り添う姿勢が必要であると考えます。いじめは、「まずは、自分自身が絶対に行わないこと、そして誰であってもいかなる場合であっても絶対に許されることではないという覚悟が不可欠であって、万が一にもいじめられる側にも問題があるから仕方がないことなのだ。」という考え方があるようであれば、それは変えていかなければならないことであるという認識が必要であると考えます。是非とも「ぶれることのない取組」を引き続きお願いいたします。

## (2) [活躍の場の充実] について

続いて、[活躍の場の充実] の多様な人の活躍・地域貢献活動の支援での鉢形城公園内の案内をするボランティア案内人の活動実績はコロナ禍により利用団体数、利用人数、案内人出役総数はゼロとなっていますが自粛を余儀なくされる状況でやむを得ないことであると考えます。

地域間交流・国際交流の推進の「メアリズビル市との交流」としての中学生海外相互交流事業はメアリズビル市へ生徒を派遣する予定が中止となりました。これもやむを得ないことであると考えます。一日も早いコロナ禍の収束をみて、中学生が国際理解という広い視野に立った豊かな体験としての交流が引き続き実現できますように願っています。

## (3) [一人ひとりを尊重する地域づくり] について

次に、[一人ひとりを尊重する地域づくり] の人権尊重と相互理解の促進では「人権教育推進事業」として、同和教育や人権教育の推進、人権尊重精神の高揚のため、人権教育推進協議会を中心に啓発活動や研修会を実施していただきました。集会所運営事業も実施していただき小学生学級・中学生学級では、教科学習、人権学習への参加を通じた学力向上や仲間づくりにより、人権を大切にする児童生徒の育成に努めていただきました。大切なことですので引き続き同和教育や人権教育の推進を行っていただきたいと思っております。

また、国の調査研究によると中学2年生で5.7%（17人に1人）はいるとされている、病気の両親・祖父母・幼いきょうだい等々の世話をせざるを得ず、更に、家業を手伝い家計を支えなくてはならない立場にあり、授業が終わるとすぐに

学校から帰らなくてはならない児童生徒の人権についても目を向けていただけるとありがたいと思います。

#### (4) [歴史の継承、文化の振興] について

次に、[歴史の継承、文化の振興] の歴史資源の保護・継承では歴史と文化を活かしたまちづくりで、文化財を適切に保存・管理をしていただいたり、確認調査により新たな知見を判明させていただいたりし、歴史と文化を活かしたまちづくりを進める基礎づくりを着実に継続して行っていただいていることはありがたいことであると考えます。今後は、遺跡や遺構についての調査研究を継続して行っていただくとともに、大福御前や男衾三郎等といった人的資源を再発掘し、歴史と文化を活かしたまちづくりに取り組んでいただけるとよいと考えます。

#### (5) [自然資源の保全・継承] について

次に、[自然資源の保全・継承] の自然環境の継承では自然環境保全のため、ミミカキグサやモウセンゴケの生育環境保全に取り組んでいただきました。しかし令和元年の台風19号の影響により、事業地への進入路が塞がれたため、生育保全地区での作業は着手できなかつたようです。気がかりなのは、モウセンゴケ株数が令和元年度の40株から令和2年度は0株となっていることです。事業地への進入路が塞がれたことによって確認が取れなかつたと理解して、絶えてしまったとは考えたくないと思います。

## 教育委員会としてのまとめ

令和3年度教育委員会の事務に関する点検・評価（対象年度：令和2年度）に当たっては、鴻野年伸氏（前寄居中学校校長）にご評価をいただきました。ご多忙の中にもかかわらず快くお引き受けをいただき、心から感謝申し上げます。

令和2年度は、平成29年度からスタートし4年目を迎えた「第6次寄居町総合振興計画基本構想」の施策に沿って、寄居町教育委員会が「真の学ぶ力を身につけた未来を拓く人づくり」を基本理念として展開した諸事業について、丁寧に評価をしていただきました。

小中学校では、新型コロナウイルスの感染拡大により、急きょ令和2年3月から臨時休業が3か月間にわたり継続され、新学期が6月からスタートしました。こうした事態に国では、一人1台のICT環境を推進するGIGAスクール構想を前倒しで推進し、当町では令和2年12月までに児童生徒と教員へのタブレット端末を導入することができました。このことにより、新型コロナウイルス感染症拡大や自然災害等が発生した場合でも、子どもたちの学びを止めない環境が整備されました。今後はタブレット端末を活用して、確かな学力を身につけることができるよう、教員のICT機器活用研修等を充実させてまいります。

「土曜サポートスクール事業」のコロナ禍の対応として非対面型のオンライン授業を行い志望校への合格につながったこと、「中学校英語検定無償化事業」について、合格率が増加したことを高く評価をいただきました。引き続き学力向上推進委員会等における情報交換やICT機器等を活用した効果的な指導手法について研究し、更なる学力向上を図ってまいりたいと考えます。

学力向上とともに体力向上についても、常に県内で上位の水準を維持することができるよう努めてまいります。部活動では、部活動指導員を1名増加配置し専門的な指導を生徒に届けることとともに、教職員の負担軽減にもつながることとして評価を受けました。町内出身で活躍しているプロ野球選手やオリンピック選手に続く、新たなアスリートを輩出につながるようさまざまな環境整備をしてまいります。

学校施設については、長寿命化と統廃合についてまとめた寄居町学校施設個別計画を策定しました。児童生徒数の減少が見込まれ施設の老朽化が進行する中では、避けて通ることができないことでもありますので、関係する保護者や地域住民の皆さんに丁寧な説明で理解を得られるようにしてまいります。

生涯学習活動では、各種スポーツ大会や公民館活動、図書館や鉢形城歴史館の利用など多くの場面で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、イベントの中止や利用制限などの措置を講じることとなりました。このことによる町民の体力やコミュニテ

ィ活動の低下が危惧されるようですが、参加者等には引き続き感染防止対策の徹底にご協力いただきながら、活発な活動が展開されるよう期待しております。

鴻野年伸氏からいただきました評価やご意見等は、今後の教育施策の事業展開に反映するように努め、多くの関係する皆様のご協力をいただき、第6次寄居町総合振興計画基本構想・前期基本計画の仕上げの年となる令和3年度に向けて総力を挙げて取り組んでまいります。



令和3年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

作成：寄居町教育委員会

電話048-581-2121（代表）